



Cage System

屋上全面飛散防止養生システム「ケージシステム」

組立手順書



【目次】

部品リスト	P1
部品リストイメージ図	P2~4
現場（お客様）にて用意していただく物	P4
完成イメージ	
CageSystem・完成イメージ(立体図)	P5
CageSystem・ユニット部イメージ(立体図)	P5
CageSystem・ユニット部完成イメージ(平面図)	P5
組立手順	
1. 足場ブラケット(持送りわく)を足場の建わくに取付ける	P6
2. サブトラスを組立てる	P7~8
3. Cageプレート、キー付きアイポイントをサブトラスのCageサイコロに取付ける	P8~9
4. メイントラスを組立てる	P10
5. Cageサイコロ下段の組立て	P10~11
6. アイボルトをCageサイコロ下段へ取付け	P11
7. ハンドホイストの取付け(メイントラス持上げ)	P12
8. サブトラスとメイントラスの連結	P13
9. レバーブロックの取付け	P14
10. メイントラス部、張力ワイヤーの取付け	P15~16
11. レバーブロックに張力ワイヤーの取付け/張力ワイヤークリップの取付け	P17~18
12. メイントラスと中間サブトラスの連結	P19
13. 飛散防止ネットワイヤーの取付け	P20
14. 飛散防止ネット・開閉ロープの取付け	P21~23
15. ユニットのクライミングする	P24
16. ユニットの設置	P25~26
17. ユニットのたわみの確認	P26
注意事項	P27~29

部品リスト

No.	名 称	略 名 称	張力ワイヤーなし		張力ワイヤーあり	
			レンタル品	販売品	レンタル品	販売品
①	Cageサイコロ	Cageサイコロ	○		○	
②	Cage600	Cage600	○		○	
③	Cage900	Cage900	○		○	
④	Cage1200	Cage1200	○		○	
⑤	Cage1500	Cage1500	○		○	
⑥	Cage1800	Cage1800	○		○	
⑦	Cage2100	Cage2100	○		○	
⑧	Cage2400	Cage2400	○		○	
⑨	Cage2700	Cage2700	○		○	
⑩	Cage3600	Cage3600	○		○	
⑪	Cageプレート	Cageプレート	○		○	
⑫	キー付きアイポイント EPK-20	キー付きアイポイント	○		○	
⑬	レバーブロック L5形 1.0T	レバーブロック1.0T	○		○	
⑭	ハンドホイスト NW500B ※1	ハンドホイスト	○		○	
⑮	張力ワイヤー IWRC 6xFi(29) φ9mm	張力ワイヤー		—		○
⑯	ワイヤー養生ホース400mm 外径φ18mm 内径φ12mm	ワイヤー養生ホース		—		○
⑰	M20ナットセット S45C (キー付きアイポイント用) ※2	M20ナットセット		○		○
⑱	M12アイボルトセット ※3	M12アイボルトセット		—		○
⑲	六角ボルト M12x35セット 強度区分4.8同等品 ※4	六角ボルト M12x35セット		○		○
⑳	張力ワイヤークリップ	張力ワイヤークリップ		—		○
㉑	ハンドホイスト用 ワイヤー付きフック φ6mm 長さ10m ※1	ハンドホイスト用 ワイヤー付きフック		○		○
㉒	飛散防止ネット (充実率φ:0.21 PP 6mm目合い)	飛散防止ネット		○		○
㉓	ネット用ワイヤー (JISワイヤー 6x24 φ6mm)	ネット用ワイヤー		○		○
㉔	ネット用ワイヤークリップ	ネット用ワイヤークリップ		○		○
㉕	結束バンド AB150W	結束バンド		○		○
㉖	ジョイントロープ	ジョイントロープ		○		○

※1 ハンドホイスト NW500Bとハンドホイスト用 ワイヤー付きフック φ6mm 長さ10mは、上記明細では分かれています。出荷時はセットした状態で、出荷となります。

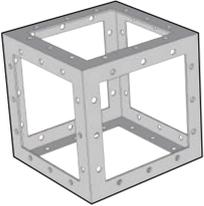
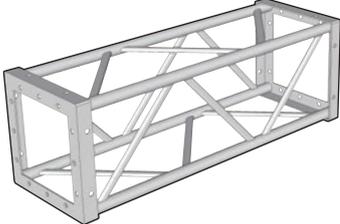
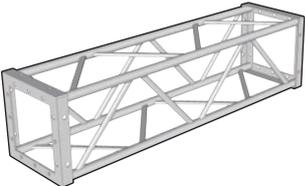
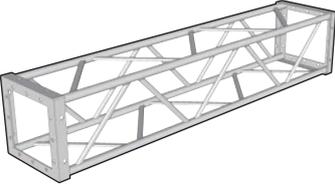
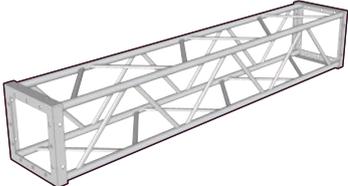
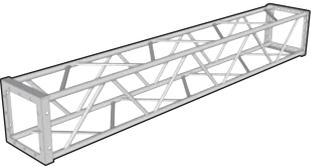
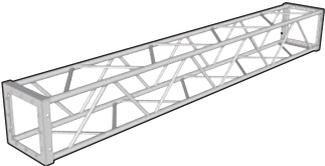
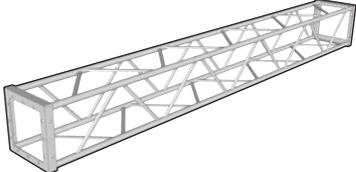
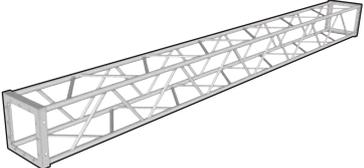
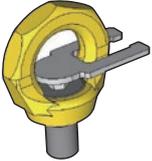
※2 M20ナットセット S45C(キー付きアイポイント用)は、平座金、六角ナットが各1ヶの内訳になります。

※3 M12アイボルトセットは、アイボルト、平座金、ばね座金、六角ナットが各1ヶの内訳になります。

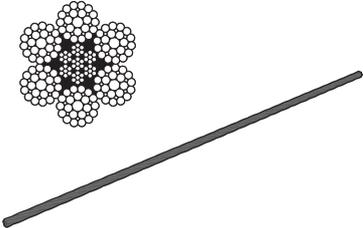
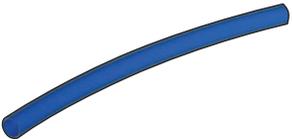
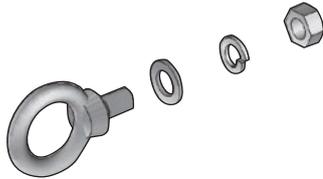
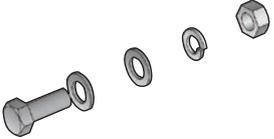
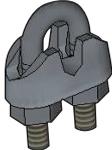
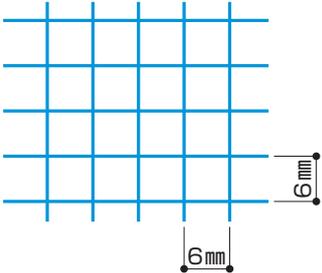
※4 六角ボルト M12x35セット強度区分4.8同等品は、平座金2ヶ、六角ボルト、ばね座金、六角ナットが各1ヶの内訳になります。

部品リストイメージ図

単位mm

<p>① Cageサイコロ W308×H308×D308 重量 2.4kg</p>	<p>② Cage600 W600×H308×D308 重量 3.7kg</p>	<p>③ Cage900 W900×H308×D308 重量 4.7kg</p>
		
<p>④ Cage1200 W1,200×H308×D308 重量 5.8kg</p>	<p>⑤ Cage1500 W1,500×H308×D308 重量 6.6kg</p>	<p>⑥ Cage1800 W1,800×H308×D308 重量 7.5kg</p>
		
<p>⑦ Cage2100 W2,100×H308×D308 重量 8.5kg</p>	<p>⑧ Cage2400 W2,400×H308×D308 重量 9.5kg</p>	<p>⑨ Cage2700 W2,700×H308×D308 重量 10.5kg</p>
		
<p>⑩ Cage3600 W3,600×H308×D308 重量 13.5kg</p>	<p>⑪ Cageプレート PL9×W308×D308 重量 6.4kg</p>	<p>⑫ キー付きアイポイント EPK-20 重量 0.7kg</p>
		

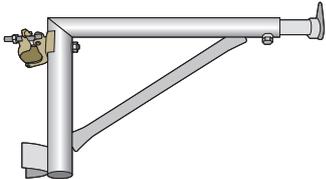
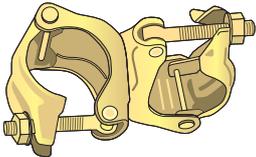
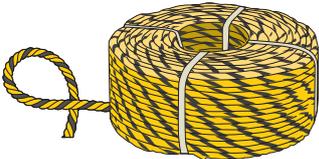
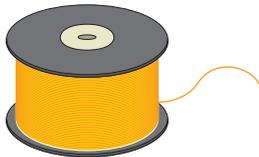
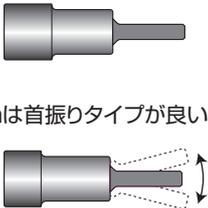
部品リストイメージ図

<p>⑬ レバーブロック L5形 1.0T 重量 5.9kg</p>	<p>⑭ ハンドホイスト NM500B ※1 重量 5.8kg</p>	<p>⑮ 張力ワイヤー IWRC 6×Fi(29) φ9mm 重量 0.36kg/m</p>
		
<p>⑯ ワイヤー養生ホース400mm 外径φ18mm 内径φ12mm 重量 0.09kg</p>	<p>⑰ M20ナットセット S45C (キー付きアイポイント用)※2 重量 0.09kg</p>	<p>⑱ M12アイボルトセット ※3 重量 0.16kg</p>
		
<p>⑲ 六角ボルト M12×35セット 強度区分4.8同等品 ※4 重量 0.08kg</p>	<p>⑳ 張力ワイヤークリップ 重量 0.2kg</p>	<p>㉑ ハンドホイスト用 ワイヤー付き フック φ6.3mm 10m ※1 重量 1.6kg</p>
		
<p>㉒ 飛散防止ネット(充実率φ0.21 300デニール 6mm目合い) 重量 53.8g/m²</p>	<p>㉓ ネット用ワイヤー(JISワイヤー 6×24 φ6mm) 重量 0.7kg</p>	<p>㉔ ネット用ワイヤークリップ 重量 0.1kg</p>
		

部品リストイメージ図

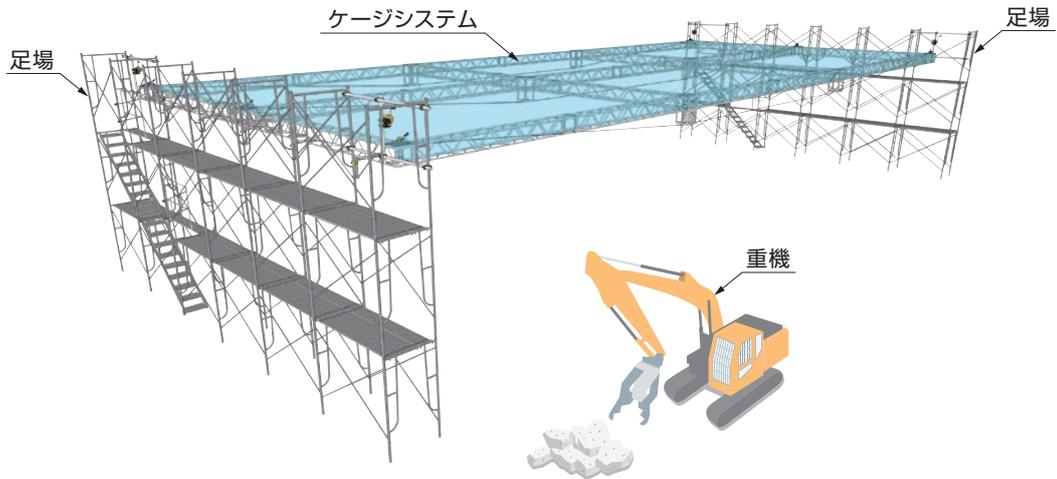
<p>㊸ 結束バンド AB150W 152mm ブラック</p>	<p>㊸ ジョイントロープ 600mm グレー・ブルー 重量 0.01kg</p>
	

現場(お客様)にて用意していただく物

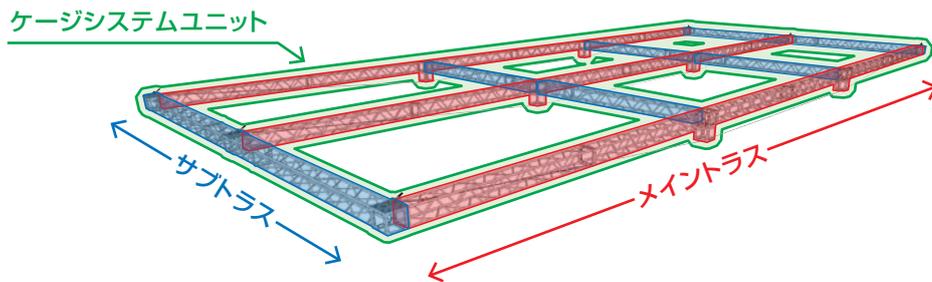
<p>持送りわく(足場ブラケット) ユニット載荷用 建地全スパン × 1</p>	<p>緊結金具(兼用直交/自在クランプ) ユニットとの緊結用 (足場ブラケットと同数+ハンドホイスト数×6)</p>	<p>単管パイプ1m ハンドホイスト吊下げ用建地 (ハンドホイストと同数)</p>
		
<p>単管パイプ2m ハンドホイスト吊下げ用横地 (ハンドホイスト1台に対して × 2)</p>	<p>ネット開閉に使用するロープ(トラロープ等) (メイントラス長 + 3m) × メイントラス本数</p>	<p>水糸</p>
		
<p>インパクトレンチ</p>	<p>ソケット ※ 必要なサイズ: 10・17・19・21・30mm</p>	<p>スパナ 必要なサイズ: 10・17・19・21・30mm</p>
	<p>※19mmは首振りタイプが良いです。</p> 	

完成イメージ

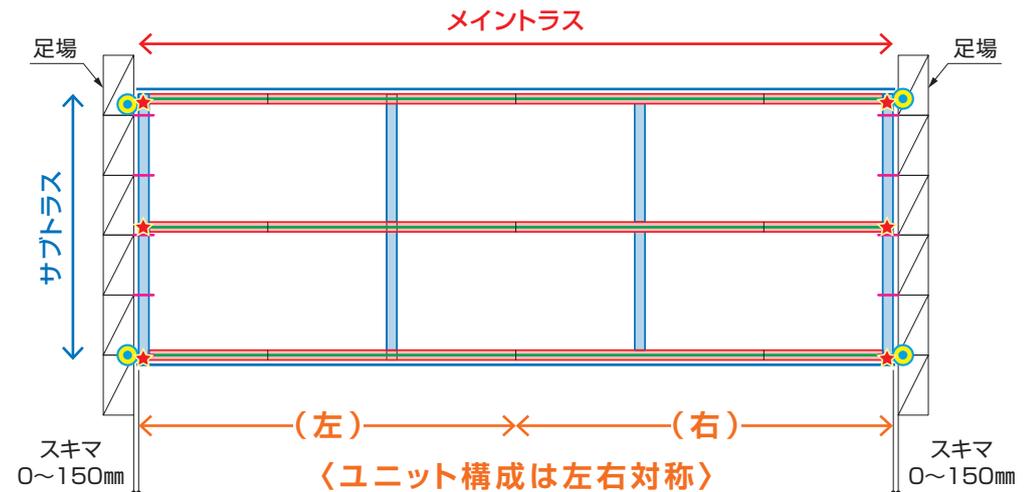
■ 完成イメージ(立体図)



■ ユニット部イメージ(立体図)



■ ユニット部完成イメージ(平面図)

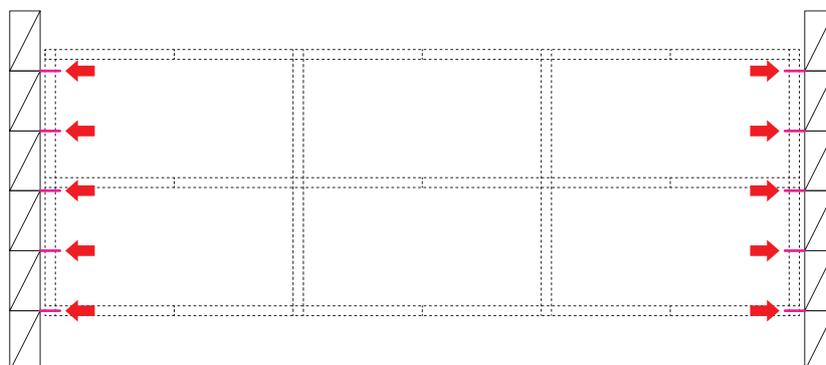


- | | | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|---------|---|-----------|
| — | …足場ブラケット | □ | …足場 | ■ | …サブトラス | ■ | …メイントラス |
| ● | …ハンドホイスト | ★ | …レバーブロック | — | …張力ワイヤー | — | …ネット用ワイヤー |

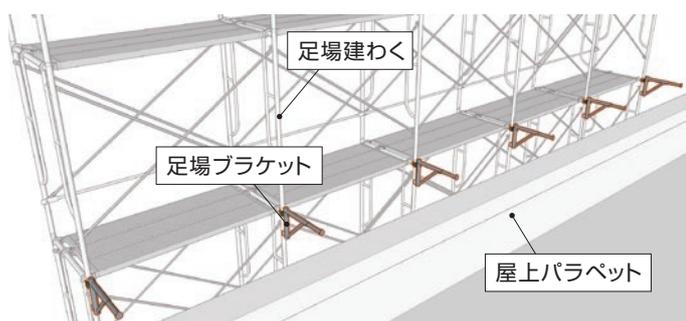
組立手順

1. 足場 Bracket (持送りわく) を足場の建わくに取り付ける

(平面図)

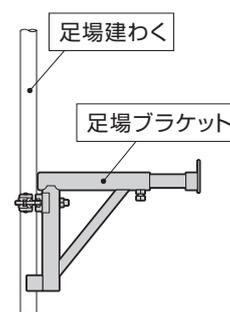


足場 Bracket 取り付け後



※防音パネル、垂直ネット等の表記は省略しています。(以下同様表記省略)

(側面図)



■ 注意事項

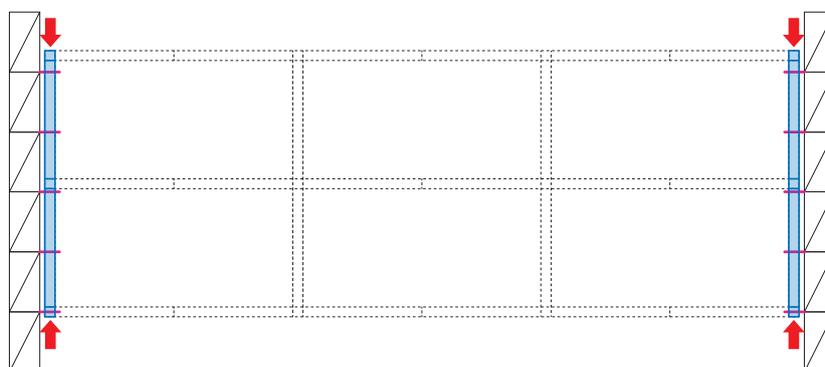
- ・足場 Bracket (持送りわく) は、(社)仮設工業会認定品を使用してください。
- ・足場 Bracket の取り付けは、全て水平レベルを合わせてください。
- ・足場 Bracket の取付位置は、障害がない事を確認し状況に応じて変える必要があります。
- ・足場 Bracket を取付ける足場は、枠組足場として説明します。
- ・組立方法は、現場状況によって異なります。ここでは、一般的な組立て方として説明しています。
- ・ユニットの大きさによって、総重量が異なる為、必要なホイストの数量は異なります。

組立手順

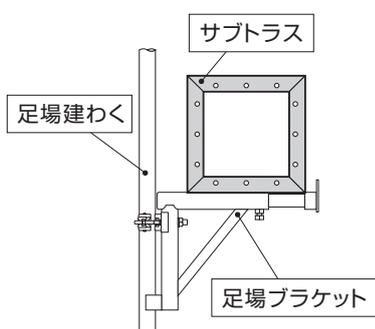
2. サブトラスを組立てる

■部分の組立てを行ってください。

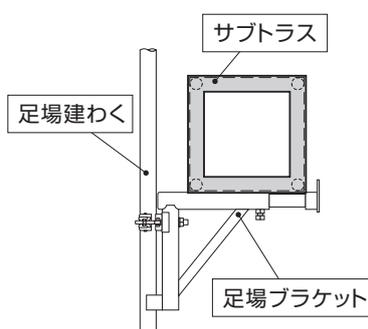
(平面図)



(側面図・Cageサイコロ部)



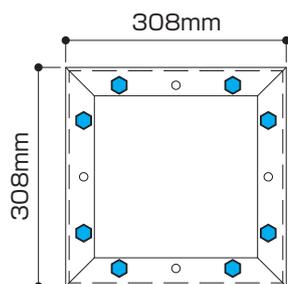
(側面図・トラス部)



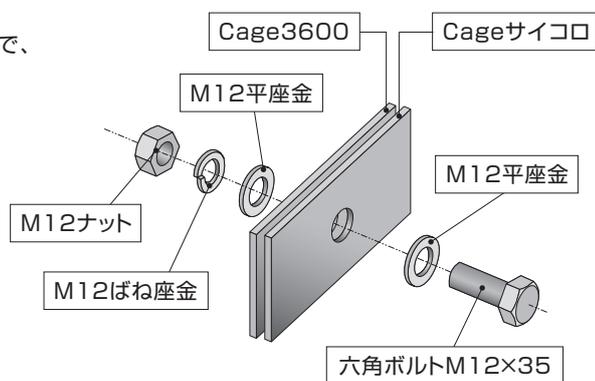
■ ボルト取付位置(8ヶ所)共通

●六角ボルト M12×35セット

※アルミトラスの組立ては、同じボルトセットで、同じ位置に8箇所取付けをします。



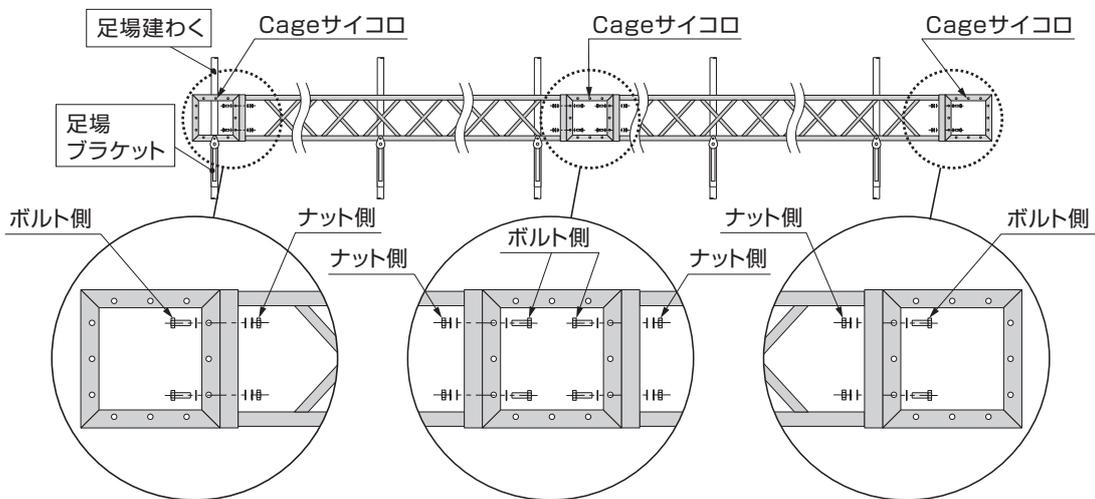
■ ボルト構成イメージ



組立手順

(正面図)

Cageサイコロと連結する場合は、六角ボルトM12×35セットの取付け方向があります。



※Cageサイコロ側がボルトになる様に組立てる。

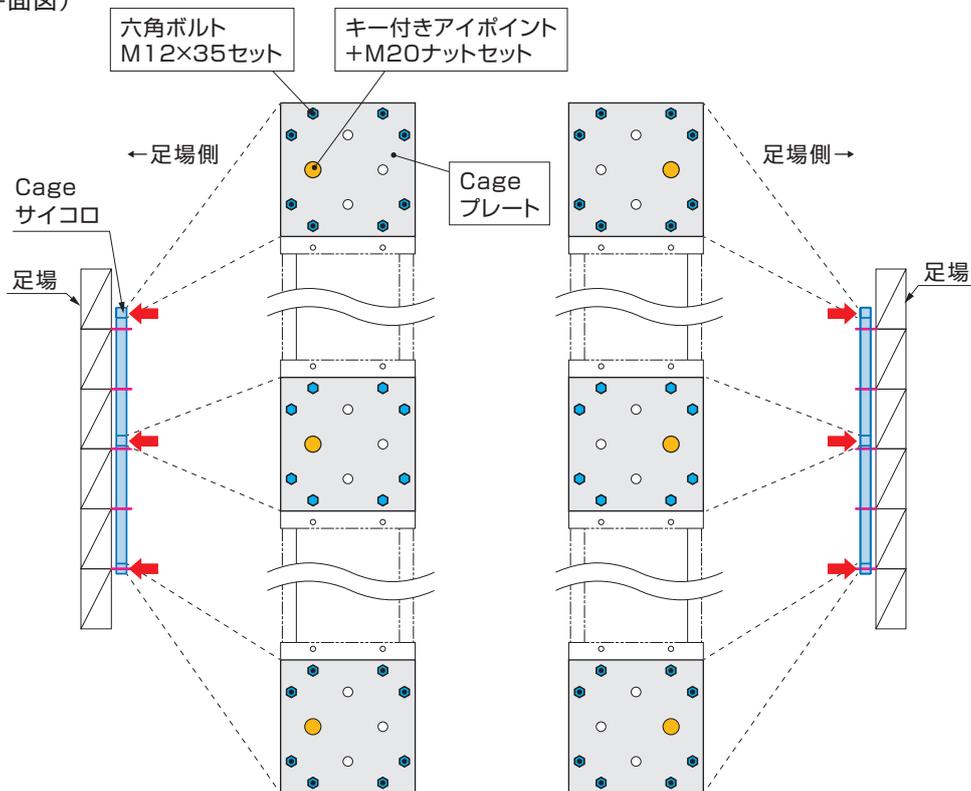
※ボルト取付位置(8ヶ所)、ボルトの構成、ボルトの向きは全ての組立てで共通です。

3. Cageプレート、キー付きアイポイントをサブラスのCageサイコロに取付ける

Cageプレート1枚に六角ボルトM12×35セット(計8箇所)、キー付きアイポイント+M20ナットセット(1箇所)取付けてください。(Cageプレートに表裏はありません。)

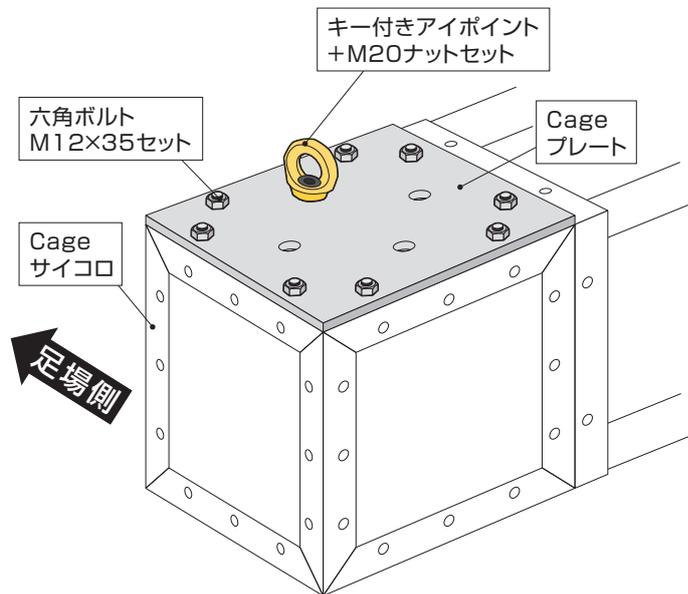
キー付きアイポイントは、足場側に取付けてください。

(平面図)

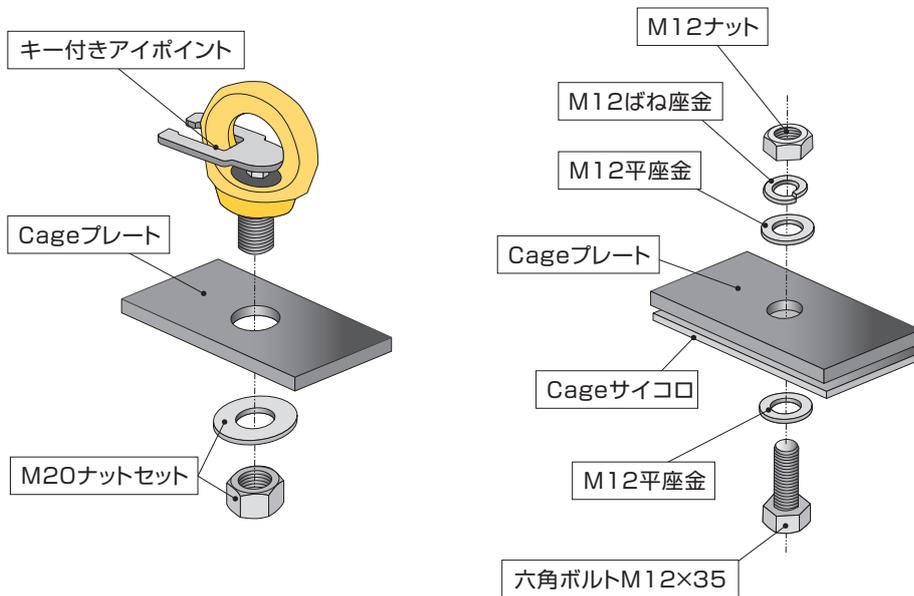


組立手順

(立体図・Cageプレート設置イメージ)



Cageプレートの取付けは、ボルトの取付けに向きがあります。(以下図参照)
(M20ナットセットの内訳は、M20ナット+M20平座金になります。)

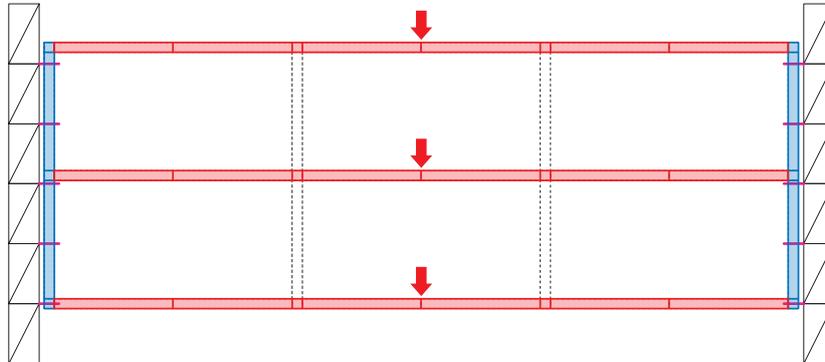


組立手順

4. メイントラスを組立てる

 部分の組立てを行ってください。

(平面図)



※ ボルト取付位置、ボルトの構成や向きはサブトラス組立てと同様です。

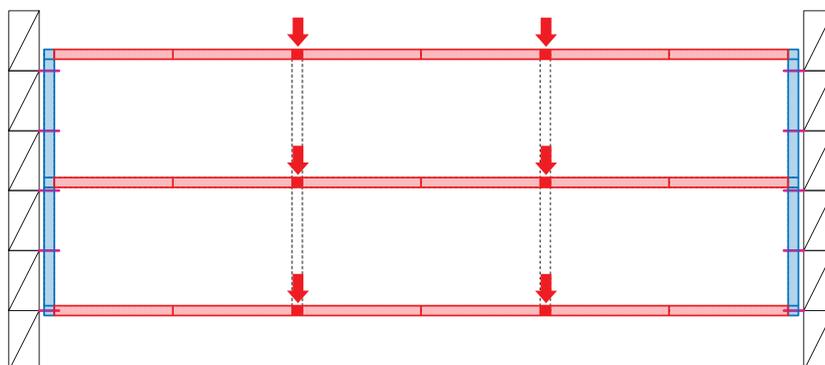
Cageサイコロと連結する場合は、六角ボルトM12×35セットの取付け方向があります。トラス同士の連結では六角ボルトM12×35セットの取付け方向はどちらでも可能です。台座を必要数用意し、上に載せて組立ててください。

同手順で計3台のメイントラスを組立ててください。サブトラス部Cageサイコロの連結部近くで組立てるとスムーズに連結が出来ます。

5. Cageサイコロ下段の組立て(張力ワイヤーあり)

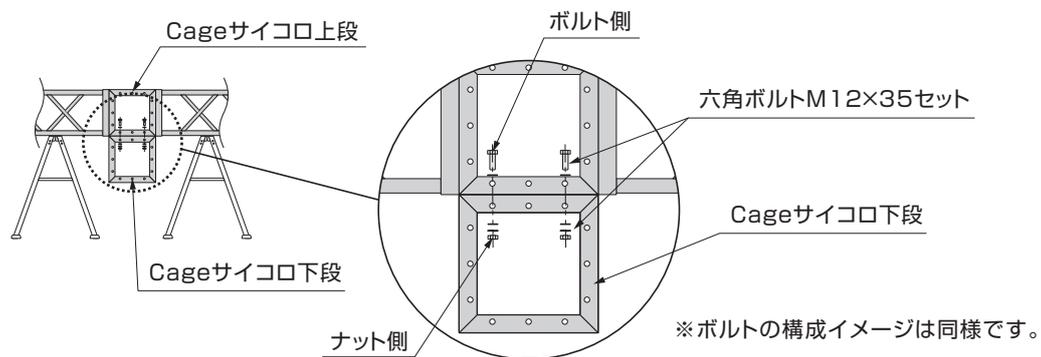
以下6箇所Cageサイコロを下段へ六角ボルトM12×35セットで取付けてください。六角ボルトM12×35セットの取付け方向があります(下図参照)。取付けるCageサイコロの形状に上下左右はありません。

(平面図)



組立手順

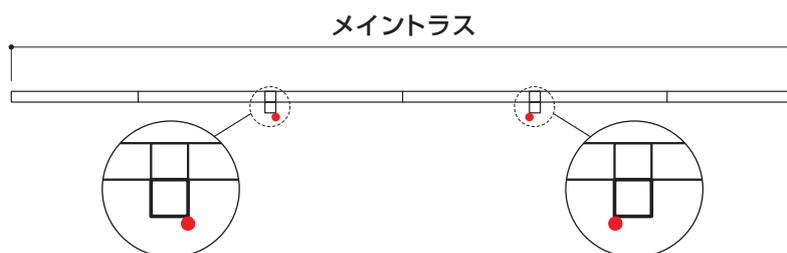
(正面図)



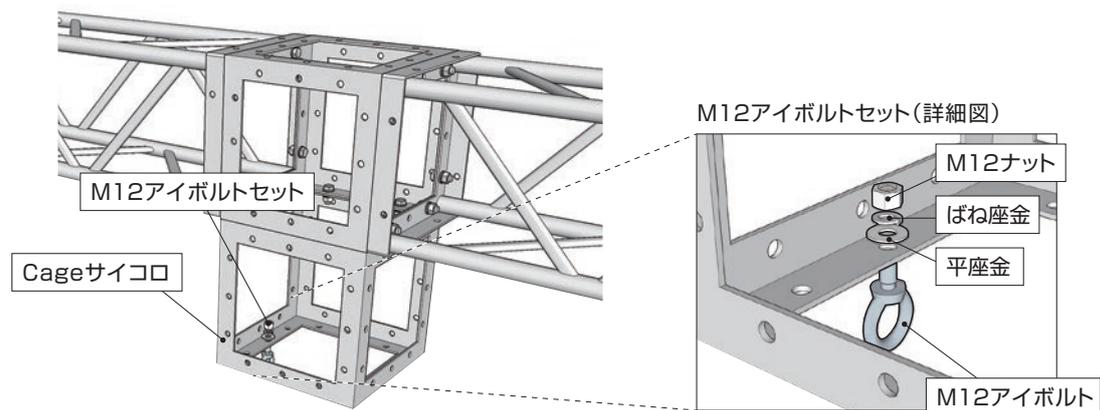
6. アイボルトをCageサイコロ下段へ取付け

■ アイボルト設置箇所

Cageサイコロ下段が2ヶ所の場合の●アイボルト取付け位置(Cageサイコロの内側中央部)



メイントラス1本に2箇所取付けます。

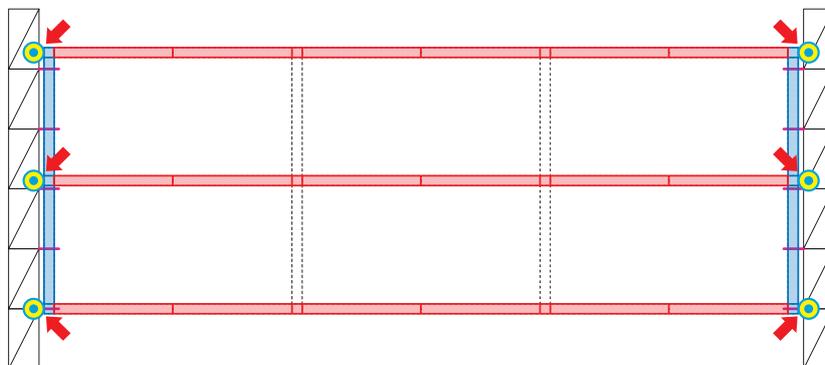


組立手順

7. ハンドホイストの取付け (メイントラス持上げ)

ハンドホイストをメイントラス両端のキー付きアイポイントを目印に足場へ取付けてください。ハンドホイストは盛り替えて使用できます。

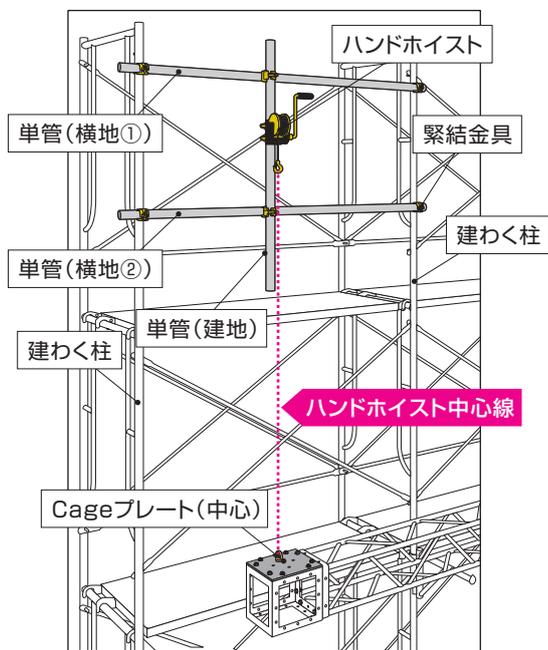
(平面図)



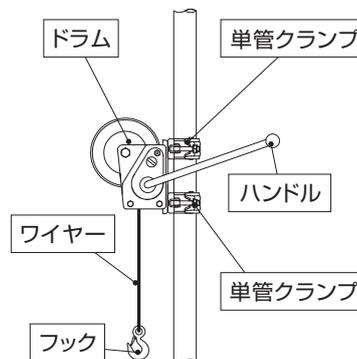
— …足場ブラケット ▨ …足場 □ …サブトラス □ …メイントラス ● …ハンドホイスト

■ 足場に単管を設置 (建わく柱芯がズレている場合)

Cageプレートと上部ハンドホイストの中心を合わせて取付けられるよう、隣接する建わくの柱に上下2段平行に単管を取付け、垂直方向に直交クランプにて単管、ハンドホイストを取付けてください。



■ ハンドホイスト各部名称



※クランプ・単管は、別途に手配をお願いします。

※ハンドホイストのワイヤー長さは、約10mになります。

※Cageプレートのセンターと枠組足場の建わくの柱芯が一致している場合、ハンドホイストを建わくに直接取付けてください。

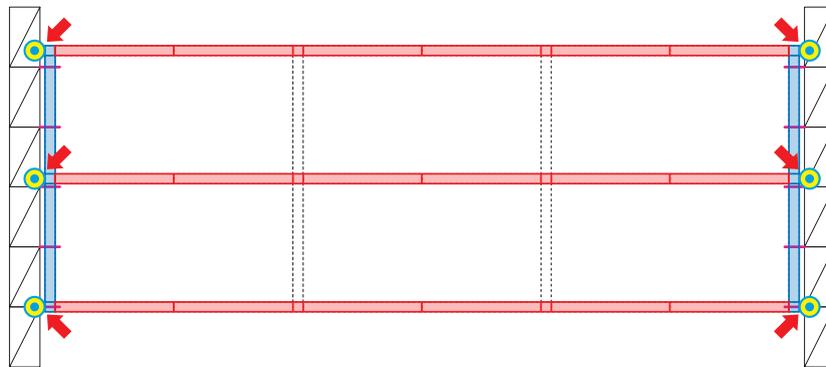
※横地の単管はハンドホイストのハンドルを廻す時に干渉しない位置に設置してください。

組立手順

8. サブトラスとメイントラスの連結

既に組立してあるサブトラスとメイントラスを連結してください。

(平面図)



— …足場ブラケット ▨ …足場 □ …サブトラス □ …メイントラス ● …ハンドホイスト

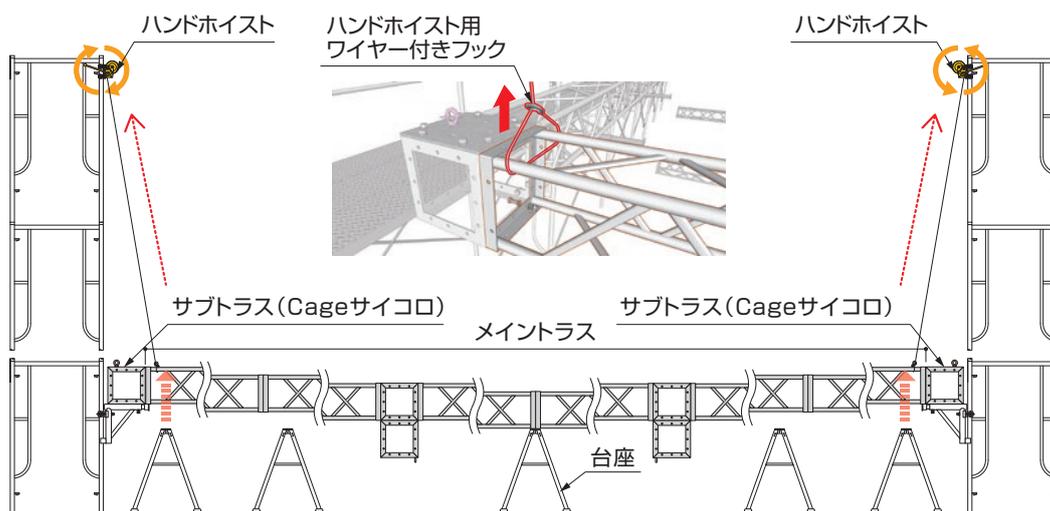
■ サブトラスとメイントラスを連結する

ハンドホイストのワイヤーのフックを、メイントラス両端に取付けしてください。

(ワイヤー接触部は、トラスを傷つけないよう、必ず養生をしてください。)

メイントラス中央部が下がらないように台座で保持して支えながらハンドホイストのハンドルを回してメイントラスをサブトラスと連結できる位置まで持ち上げてください。

ボルトをCageサイコロ側から挿入し、メイントラス側がナットになるように、組立てください。



※ボルトの取付は今までの組立と同様です。

■ サブトラスとメイントラスの組立て終了後

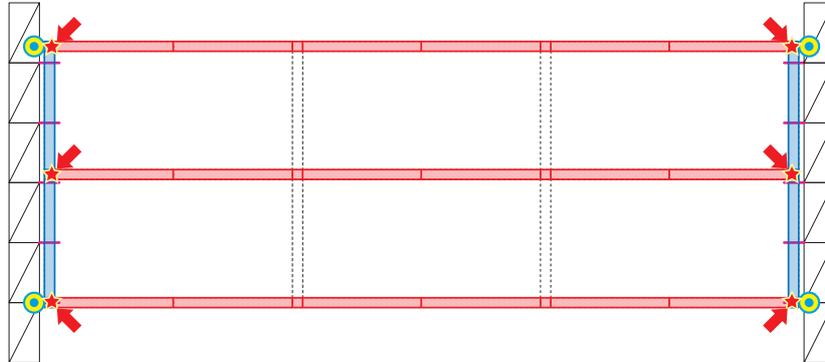
組立て終了後は、ハンドホイストのワイヤーのフックをメイントラスから取り外してください。ハンドホイストのワイヤーは、乱巻きが発生しないように注意しながら巻き上げてください。

組立手順

9. レバーブロックの取付け(張力ワイヤーあり)

下図、6箇所にレバーブロックを取付けてください。

(平面図)

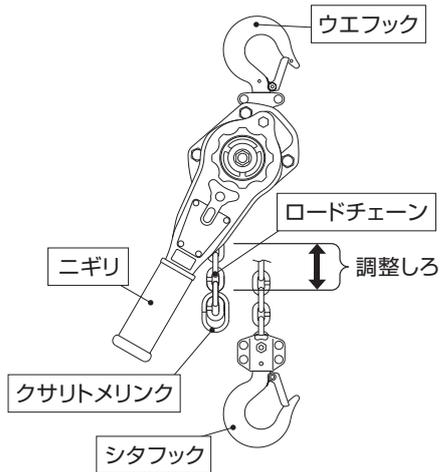


■ キー付きアイポイントにレバーブロックを取付ける

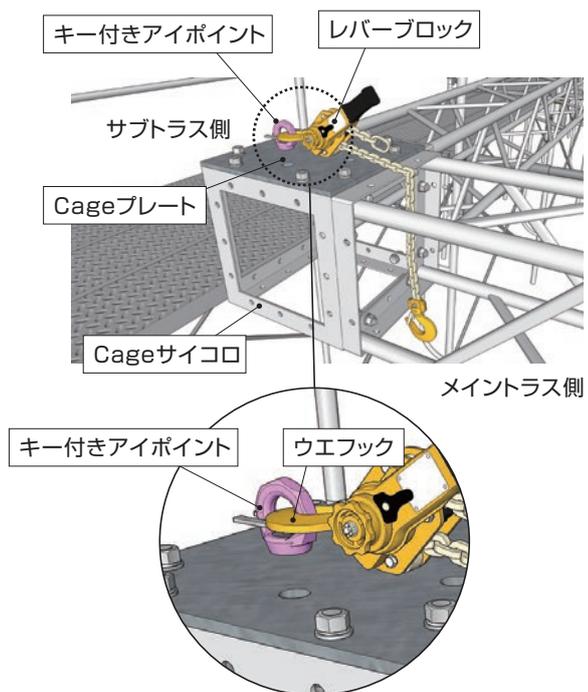
キー付きアイポイントのナットが緩んでいないか確認して、キー付きアイポイントにレバーブロックのウエフックを取付けてください。

レバーブロックにより、ワイヤーに張力をつける為、レバーブロックチェーン部の調整しるがあるか事前に確認してください。

■ レバーブロック各部名称



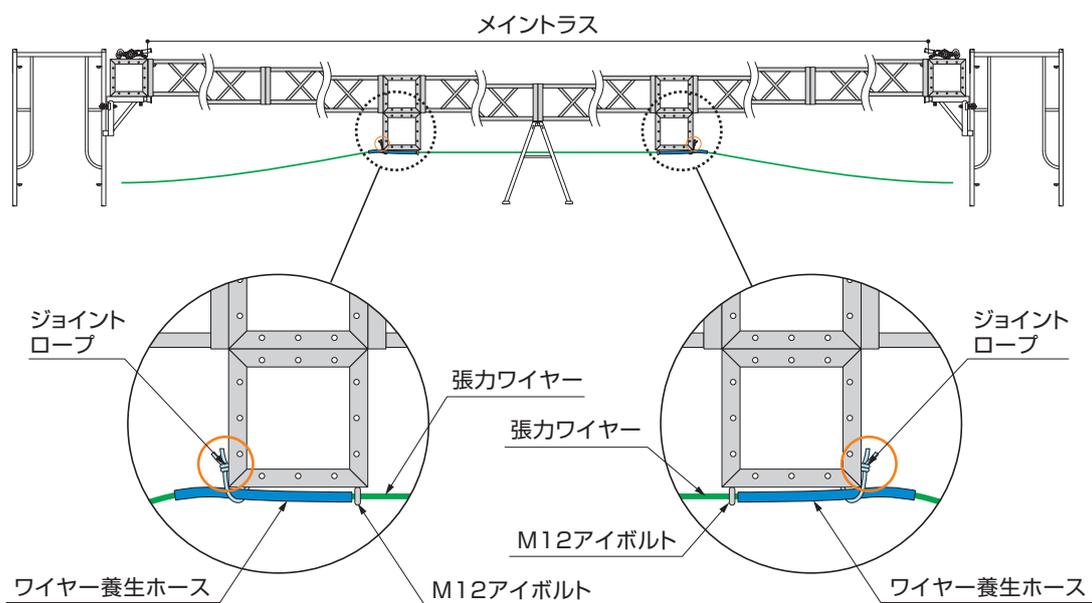
■ レバーブロック取付けイメージ



組立手順(張力ワイヤーあり)

■ Cageサイコロ2段目にワイヤー養生ホース取付け

M12アイボルトに張力ワイヤーを通し、接触する箇所にワイヤー養生ホースをジョイントロープを用いて固定してください。下図は2箇所ですが、その他張力ワイヤーがメントラスに接触する箇所があれば、ワイヤー養生ホースを追加設置してください。

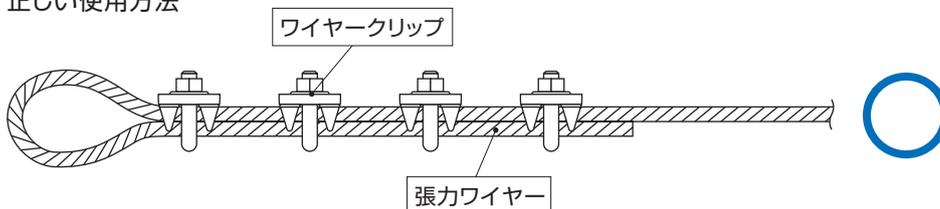


組立手順(張力ワイヤーあり)

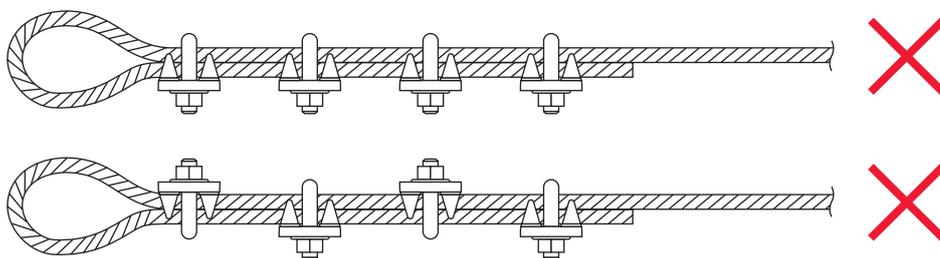
11. レバーブロックに張力ワイヤーの取付け / 張力ワイヤークリップの取付け

張力ワイヤー両端に張力ワイヤークリップを使って輪を作成してください。(張力ワイヤークリップ片側4個ずつ使用)張力ワイヤークリップには、取付け方向があります。

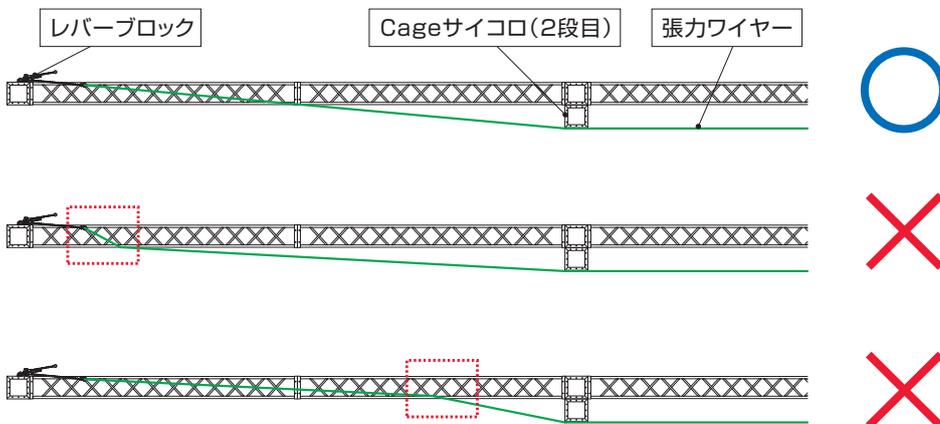
■ 正しい使用方法



■ 誤った使用方法

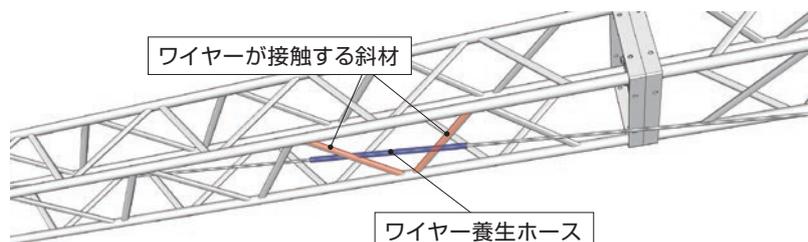


■ Cage2段目サイコロからレバーブロックまで張力ワイヤーを通してください。



■ 張力ワイヤーの配置

張力ワイヤーは、レバーブロックでワイヤーに張力をかけた場合にアルミトラス材の水平構面の斜材が変形する可能性がある為、Cage2段目サイコロの下段~レバーブロックまで真っ直ぐ配置してください。

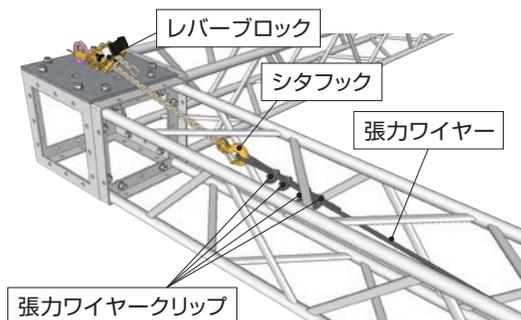


組立手順(張力ワイヤーあり)

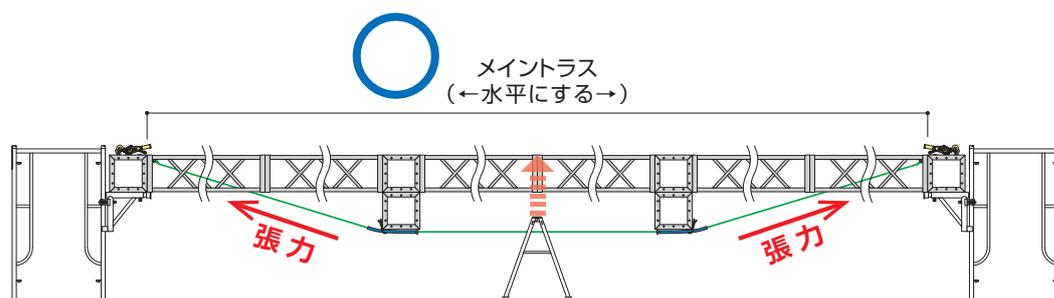
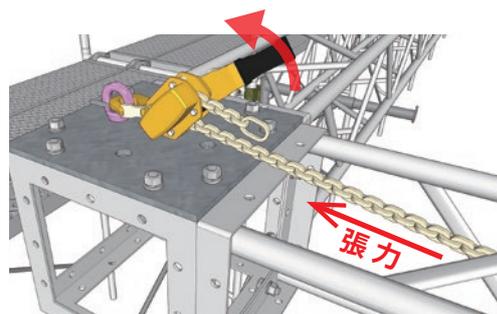
■ レバーブロックに張力ワイヤーを取付ける

メイントラス両端レバーブロックからCageサイコロ下段部まで真っ直ぐ張力ワイヤー配置してください。レバーブロック・シタフックに張力ワイヤーの輪を引っ掛けてください。レバーブロックのニギリを動かし張力ワイヤーを緊張させ、メイントラスが水平になるように調整してください。張力ワイヤーの付いたすべてのメイントラスに同様の作業を行ってください。

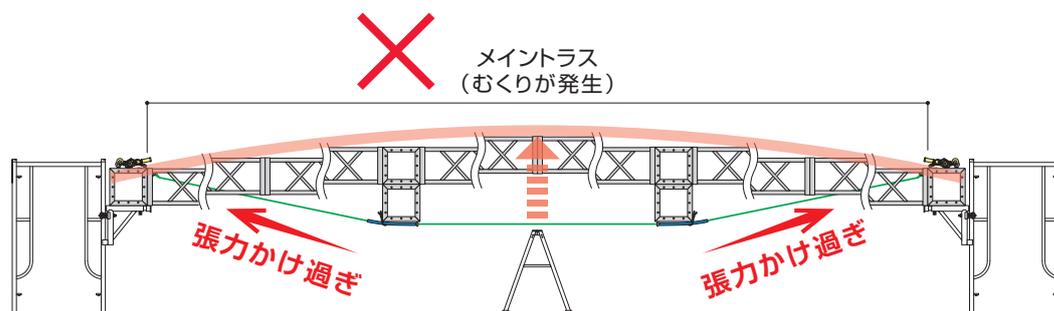
■ 張力ワイヤークリップの位置



■ レバーブロックによる張力かける



注) 張力をかけ過ぎてむくりが発生しないようにしてください。

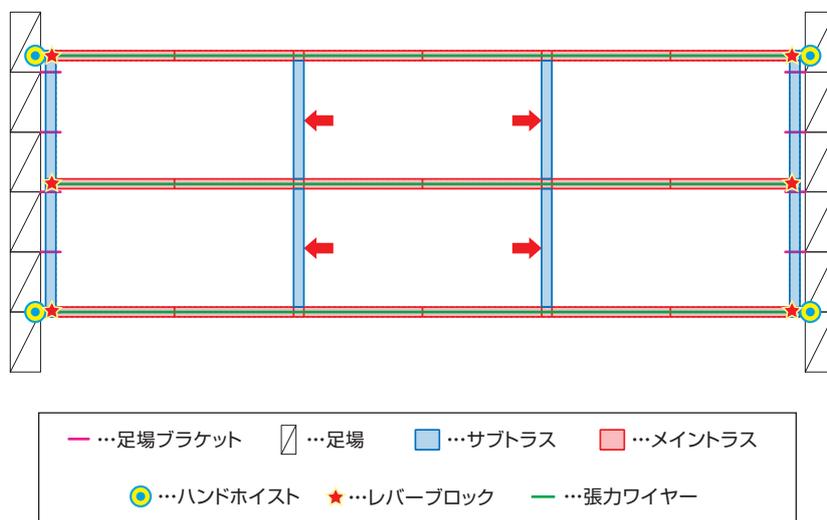


組立手順

12. メイントラスと中間サブトラスの連結

中間のサブトラスを台座等を使用し、メイントラスと同程度の水平レベルにして六角ボルトM12×35セットで連結してください。六角ボルトM12×35セット取付けには方向があります。

(平面図)



■ 注意事項

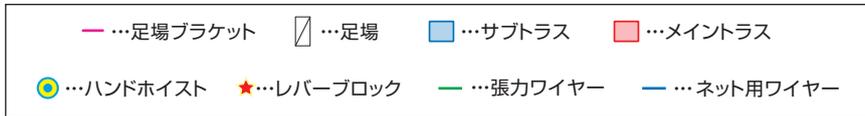
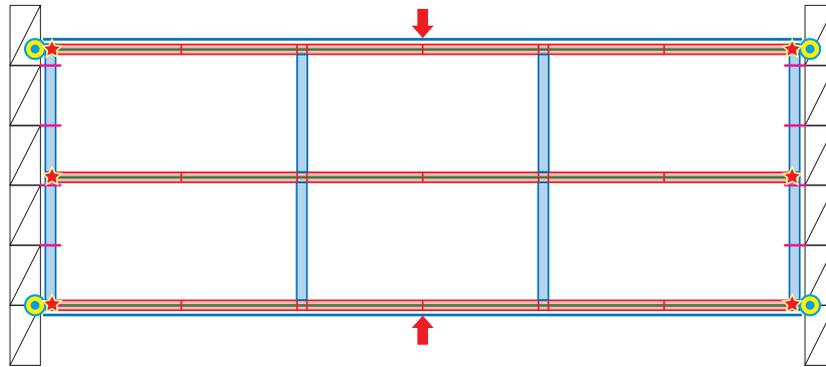
クライミング前にボルトの取付け漏れ、緩み、ワイヤー養生ホースの取付け漏れがないか全箇所確認してください。またメイントラスが水平になっているか目視で確認してください。

組立手順

13. 飛散防止ネットワイヤーの取付け

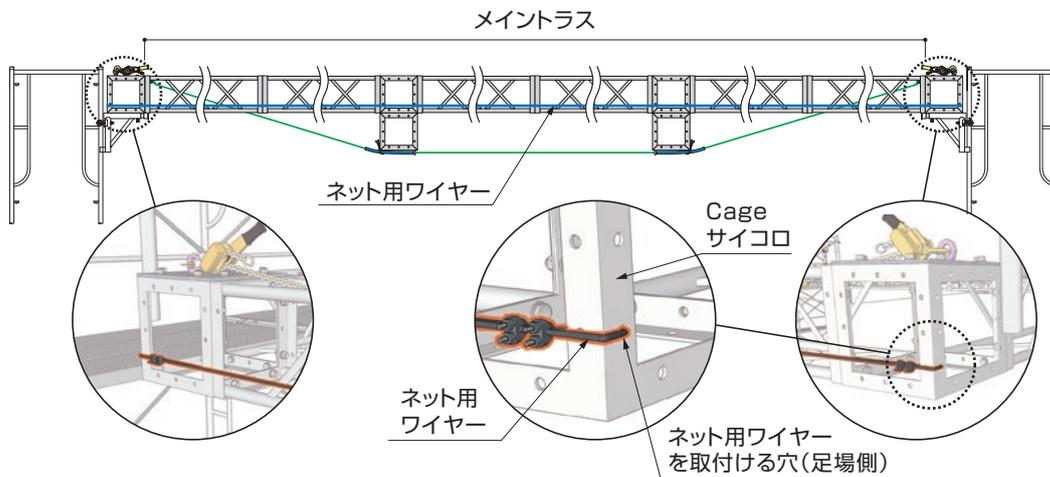
ユニットのメイントラスの両側にネット用ワイヤーを取付けてください。

(平面図)



■ ネット用ワイヤーの取付け方

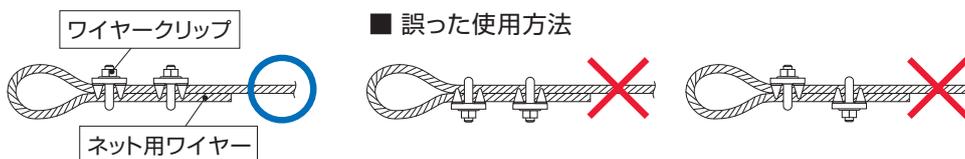
ネット用ワイヤーをCageサイコロ下部の穴に通し、たわまないようにネット用ワイヤークリップで固定してください。(ネット用ワイヤークリップ片側2個ずつ使用)



注) ネット用ワイヤーがたるんでいると飛散防止ネットが風であおられた場合にアルミトラス材との間に隙間が発生しやすくなります。

■ 正しい使用方法

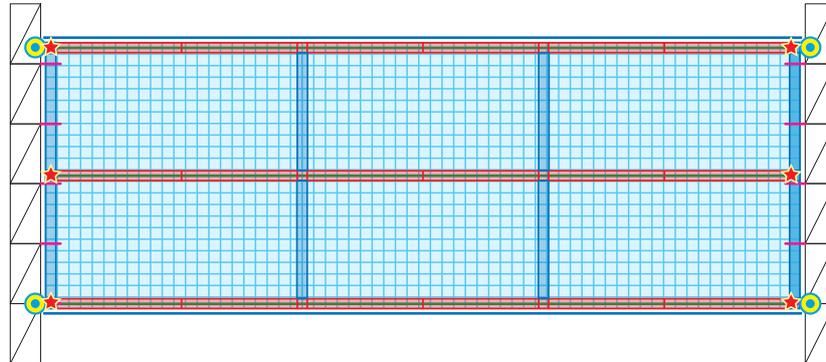
ネット用ワイヤークリップには、取付け方向があります。



組立手順

14. 飛散防止ネット・開閉ロープの取付け

(平面図)



■ 飛散防止ネットを配置

飛散防止ネットを足場片側のサブトラス上へ広げやすいように、折り畳んで載せてください。

■ 飛散防止ネットの開閉ロープ設置

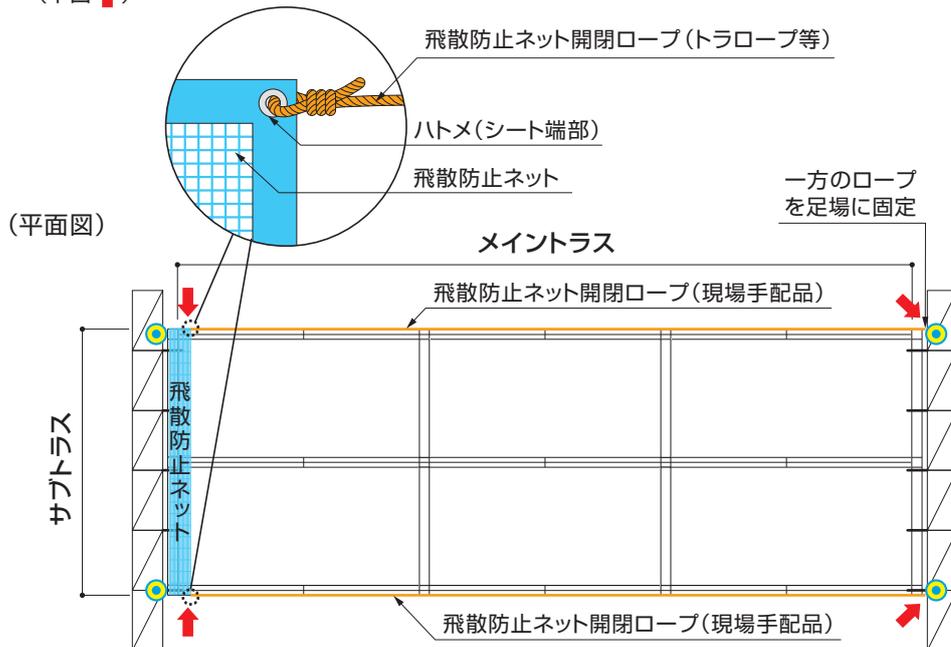
飛散防止ネット開閉ロープをメイントラスより3m程長く切り、必要数(2~3本)用意してください。

※飛散防止ネットを開閉する為に、使用するロープ(トラロープ等)は、現場手配お願い致します。

■ 開閉ロープを飛散防止ネットに取付け

開閉ロープを飛散防止ネットのハトメ端部に取付け一方のロープの端を反対側の足場に固定してください。

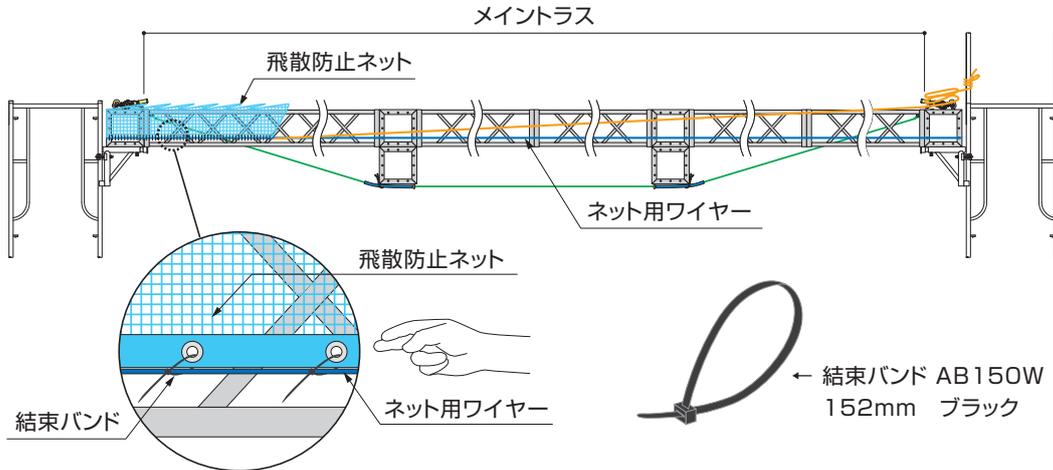
(下図↑)



組立手順

■ 飛散防止ネットとネット用ワイヤーの取付け

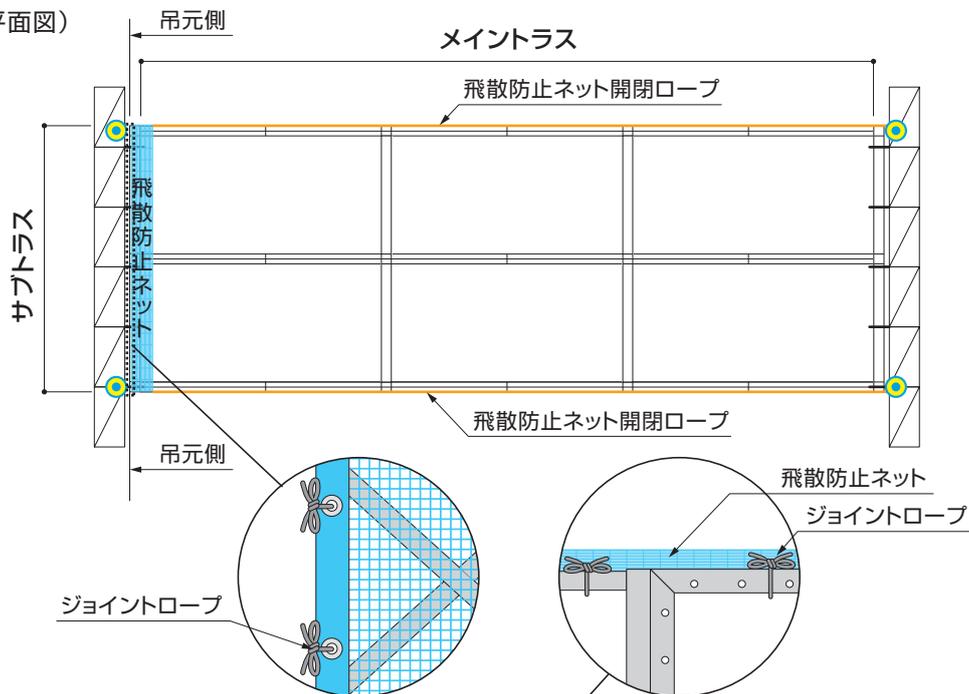
メイントラス両側、飛散防止ネットの側面ハトメ全てに結束バンド(AB150W)を用いて、ネット用ワイヤーへ固定してください。結束バンドを締めすぎると飛散防止ネットの開閉が出来ない為、指2~3本程度入る隙間を確保してください。



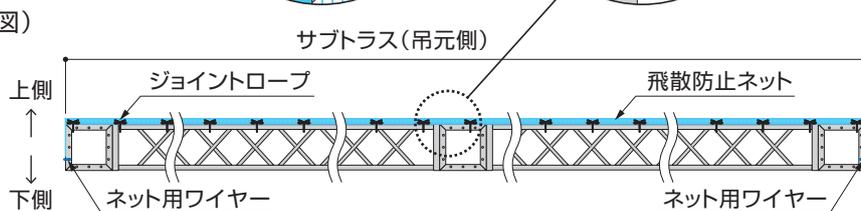
■ 飛散防止ネット吊元側の固定

吊元側のサブトラスと飛散防止ネットハトメ部全てをジョイントロープを300mmピッチ程度でくくりつけてください。必ずアルミトラスに固定してください。

(平面図)



(側面図)

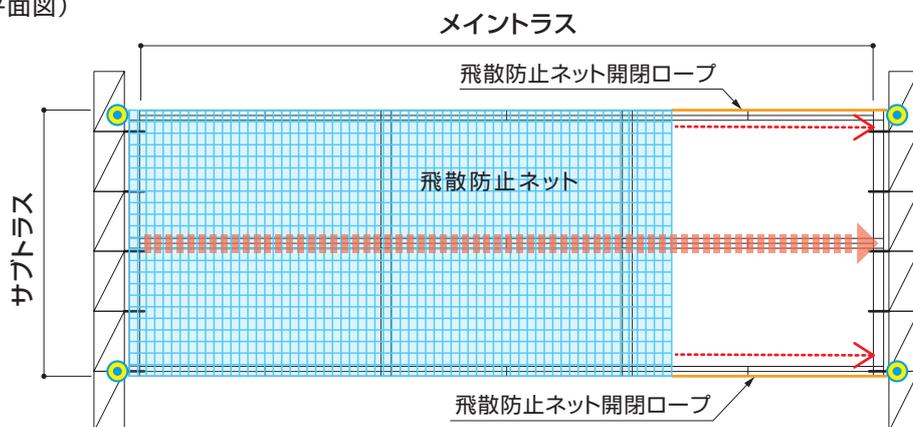


組立手順

■ 飛散防止ネットを閉じる

足場に仮止めした開閉ロープを外し、ロープの本数と同人数で同時に引き寄せてください。引っ掛かりがあるとハトメ等、壊れる可能性もあるので、ネット用ワイヤーや結束バンド等を調整してください。

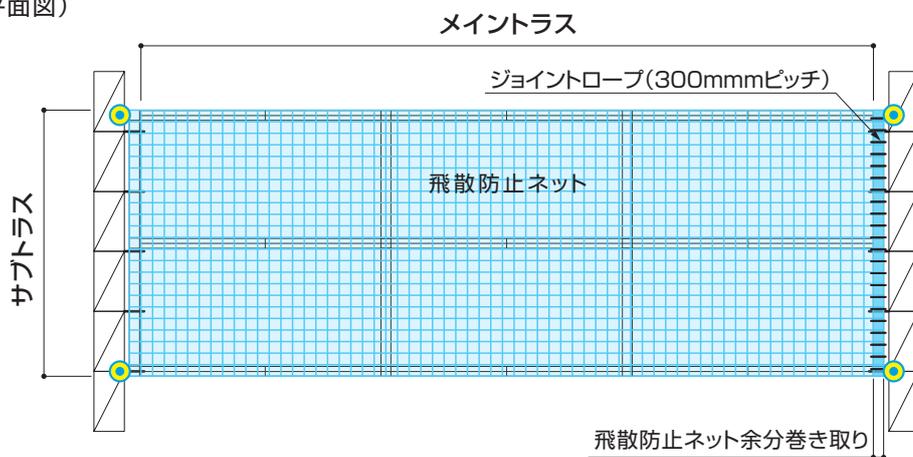
(平面図)



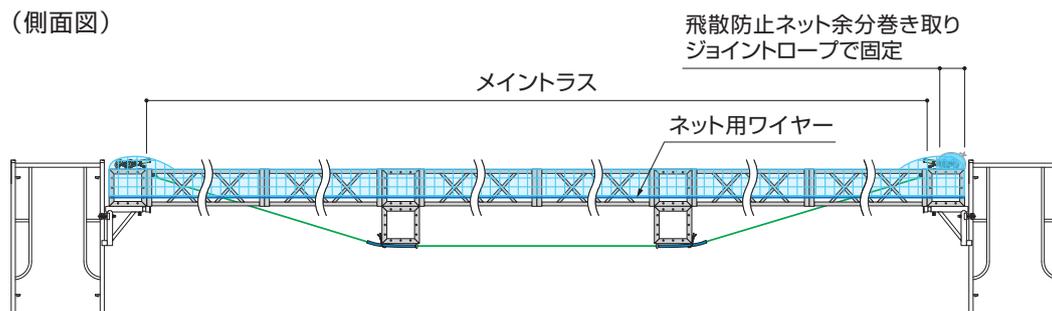
■ 飛散防止ネットの固定

開閉ロープで引き寄せた飛散防止ネットを巻き取りサブトラス上部にジョイントロープを300mmピッチ程度でくくりつけてください。

(平面図)



(側面図)

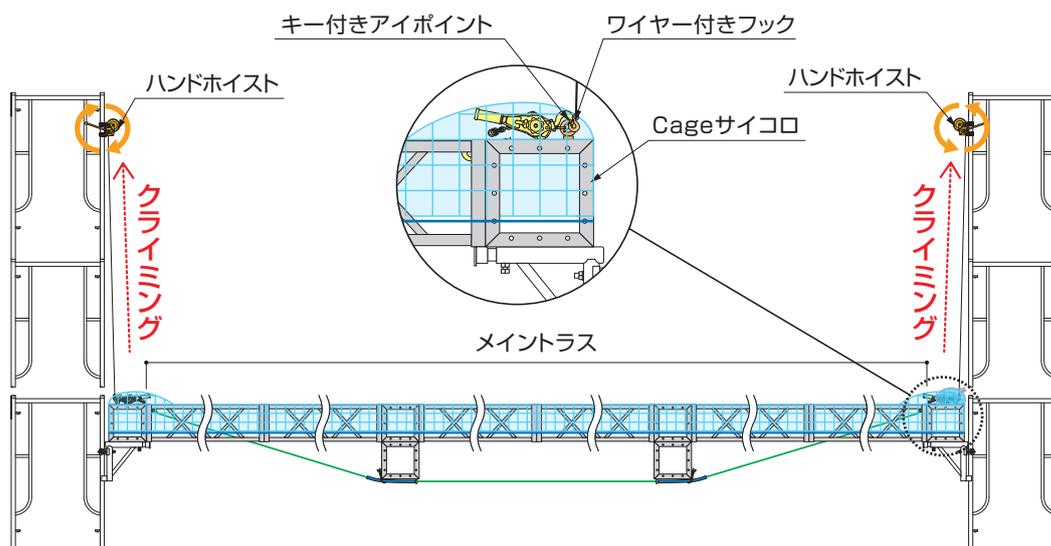
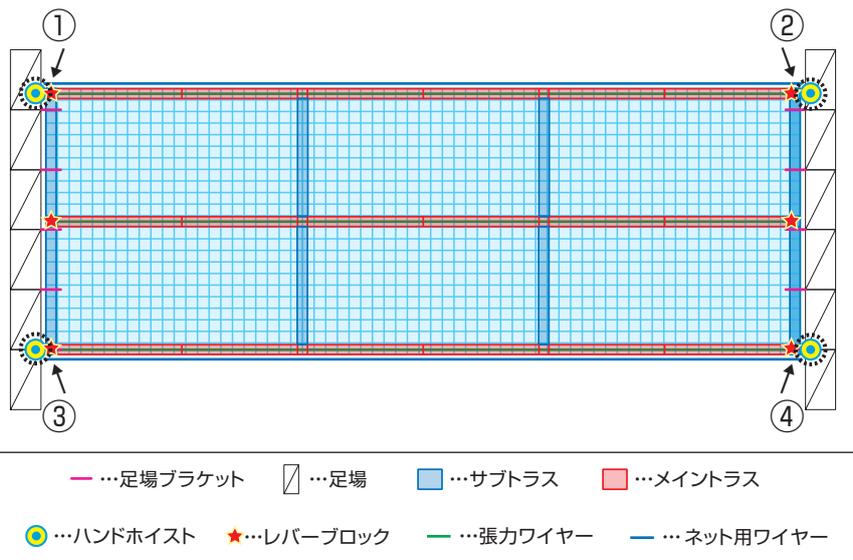


組立手順

15. ユニートをクライミングする

上部ハンドホイストの中心とキー付きアイポイントの中心が合っているか、確認してください。ハンドホイストのハンドルを廻し、ワイヤー付きフックを下げ、キー付きアイポイントにフックを掛けてください。4台のハンドホイストのハンドルを同時、同じスピードで廻してユニット全体を所定の位置までクライミングしてください。
 注) ユニートをクライミング、クライムダウンする時は、周辺に障害物や作業者に対する安全性を確認してから、作業を実施してください。

(平面図)

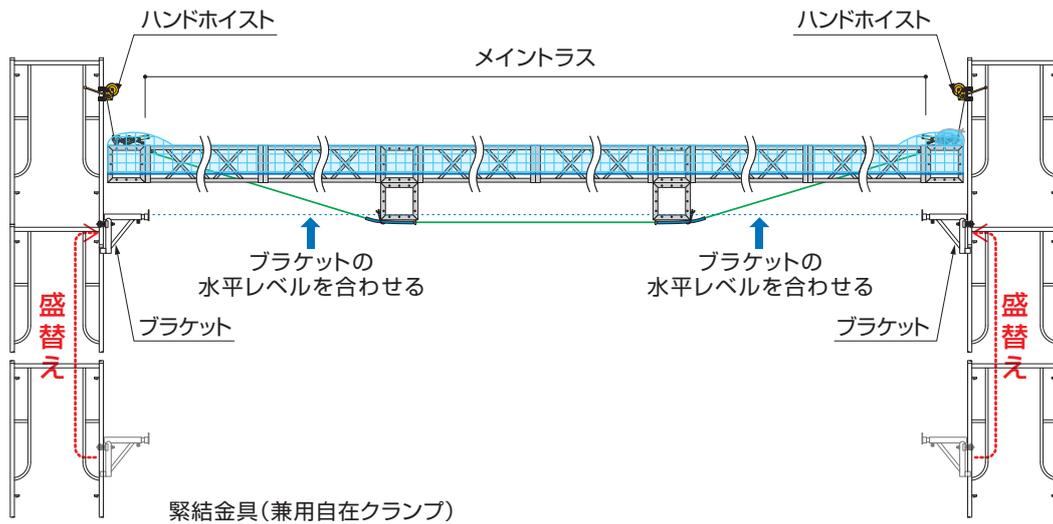


組立手順

16. ユニットの設置

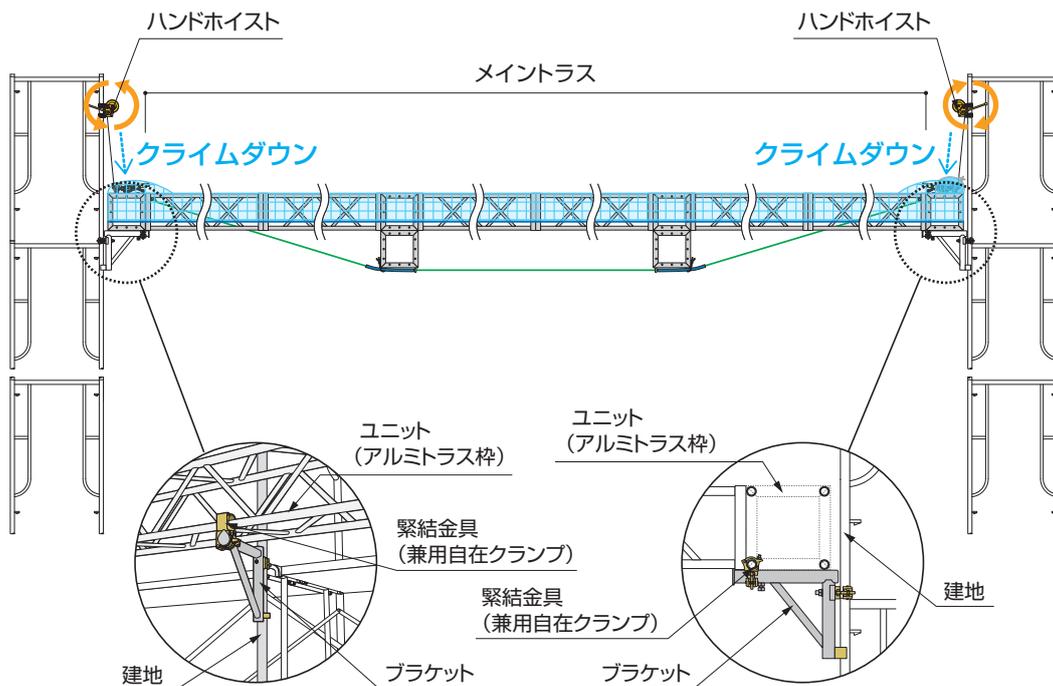
■ ブラケットの盛替え

下部の足場ブラケットを外して、上部の足場に水平レベルを合わせて設置してください。足場ブラケットが下らない様に建わくの補剛材の上部等に設置するか、捨てクランプ等を取付ける対策を実施してください。



■ ユニット(アルミトラス枠)をブラケットに取付ける

足場ブラケットの上部にユニットを載せてください。
ユニットを手で少し持ち上げながら、緊結金具(兼用自在クランプ)を全てのブラケットに固定してください。
緊結金具(兼用自在クランプ)は、現場手配お願い致します。

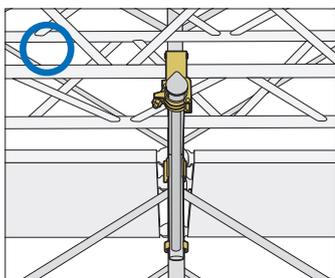


組立手順

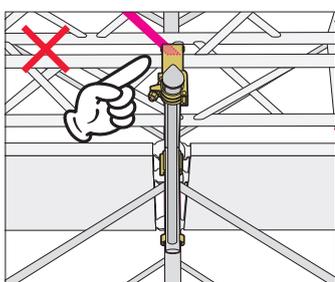
■ 足場ブラケットの固定でトラスが干渉する場合の対処

ブラケット左右の振り角度を調整して、緊結金具(兼用自在クランプ)を取付けてください。

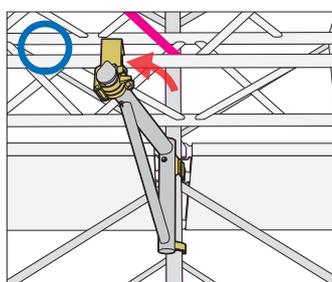
足場ブラケットが真っ直ぐ
取付け出来る箇所



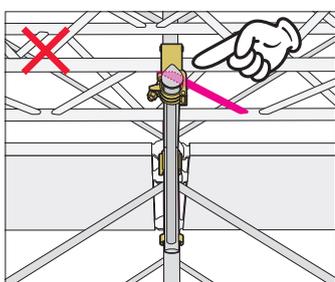
上の斜材が干渉している



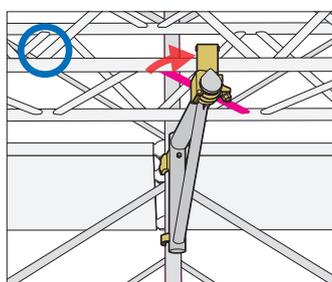
ブラケットを左に向け干渉を避ける



下の斜材が干渉している



ブラケットを右に向け干渉を避ける



17. ユニットのたわみの確認

メイントラス中央部が下にたわんでいる場合は、レバーブロックで水平になる様、緊張させてください。

【完成】

注意事項

■ 運用時の注意事項について

【日常点検】

毎日作業前点検として、目視確認等でユニット:メイントラス中央部にたわみが確認できた場合は、水平になるようにレバブロックで調整してください。

【風速管理を超える可能性がある場合の対策】

限界風速以上の風が吹く可能性がある場合は、飛散防止ネットをたたむ対策を実施してください。

【悪天候後の点検】

強風や積雪などの悪天候後は、始業開始前点検を行ってください。各部材の亀裂、変形を確認した場合は使用を中止し、部材の交換等を行ってください。

【強風予報時の対策】

台風等の強風が発生する場合は、事前に飛散防止ネットをたたむ対策を実施してください。

【積雪予報時の対策】

積雪や積雪予報がある場合は、事前に飛散防止ネットをたたむ対策を実施し、ケージシステムユニット上のトラスに雪がつもった場合は、都度雪をおろしてください。

【解体作業休暇等】

休日や解体作業を停止し、急な天候不順等によって、飛散防止ネットをたたむ事が出来ない場合は、事前に飛散防止ネットをたたむ対策を実施してください。

【用途】

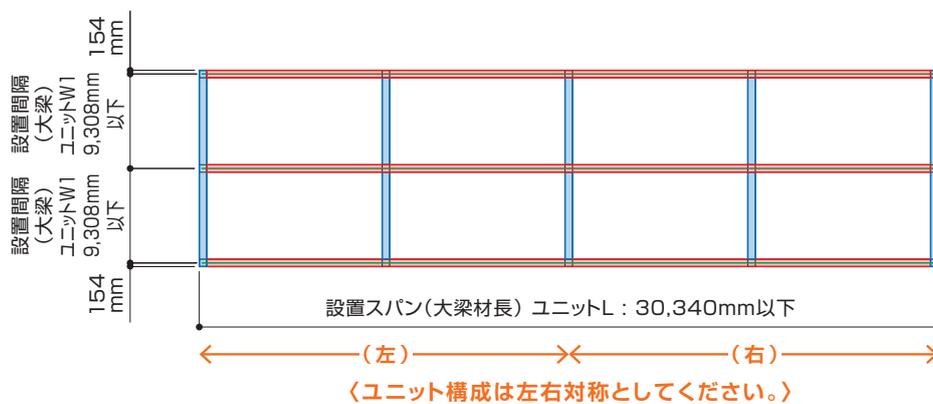
飛散防止養生以外の用途としては、使用しないでください。

【構成】

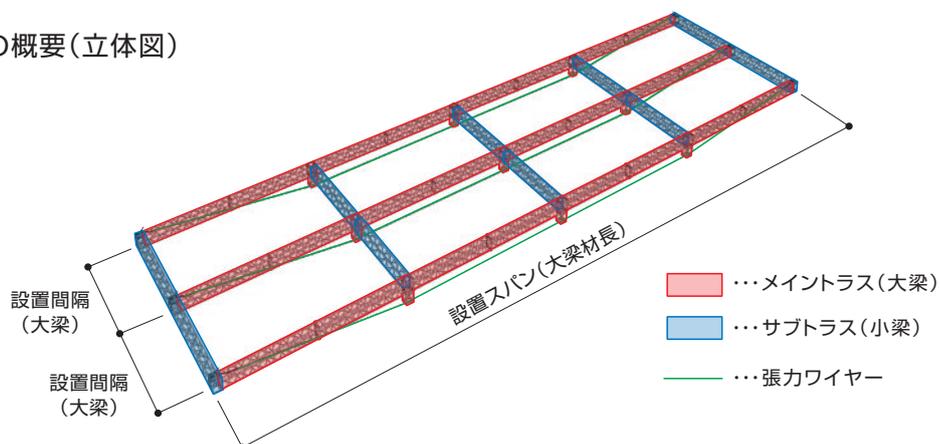
ユニットメイントラスの長さ方向については、アルミトラス材(Cageサイコロ・600~3600)の配置が、必ず左右対称となるよう、設置計画を実地してください。

ユニットサブトラスの方向については、必ずしも左右対称とする必要はありません。

■ 各部の概要(平面図)



■ 各部の概要(立体図)



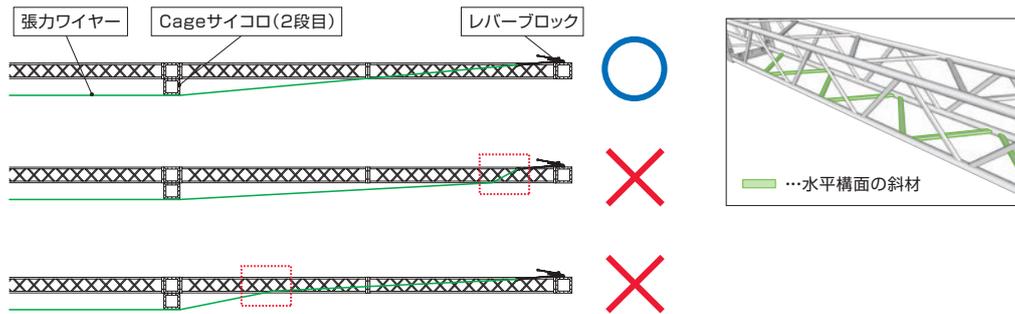
注意事項

[禁止作業]

アルミトラス材には、乗らないでください。

[張力ワイヤーの配置]

張力ワイヤーは、レバーブロックでワイヤーに張力をかけた場合に、アルミトラス材の水平構面の斜材が、変形する可能性がある為、Cageサイコロ2段目～レバーブロックまで、真っすぐ配置してください。
張力ワイヤーは、アルミトラス材の中を通る部分もある為、張力ワイヤーがアルミトラス材と接触する部分は、ホースで養生しアルミトラスの傷防止処置を実施してください。



[足場]

足場材自体の鉛直や風その他荷重に対する耐力確認は別途行ってください。

■ ユニットの上下移動、飛散防止ネット開閉作業中の注意事項

[ユニットの上下移動]

ユニットを持ち上げる(クライミング)、ユニット盛替え時(クライムダウン)周辺に障害物や作業者に対する安全性を確認してから、作業を実施してください。

[解体作業中]

重機とアルミトラスが接触した場合、またはガラなどがアルミトラスに当たった場合は、接触部付近と各部材の亀裂、変形等が入っていないか確認を行ってください。各部材の亀裂、変形等が入っている場合は、部材交換を行ってください。

[ハンドホイスト部の確認]

足場とハンドホイストを取付けるクランプが緩んでいないか、ハンドホイスト使用前に確認してください。緩んでいる場合は、増し締めを行ってください。

ハンドホイストのワイヤーの巻き上げは、乱巻きが発生しないように、注意して作業してください。

ワイヤーにキンク等が発生した場合には、ワイヤーロープの使用禁止基準を参考に、ワイヤー自体を交換してください。

[ネット]

飛散防止ネットに穴等がないか確認してください。穴等がある場合は、飛散防止ネットを修理又は、交換してください。

飛散防止ネットの開閉用ロープが、切れた場合は、交換してください。

飛散防止ネットの開閉に使用する結束バンドは、耐候性に優れた屋外用の結束バンドAB150Wを推奨しております。

現場で結束バンドを手配される場合は、耐候性等に注意頂くように注意お願い致します。

飛散防止ネットの開閉の際に、結束バンドに部分的な破断や亀裂が確認できた場合は、新品と交換してください。

注意事項

■ 組立て時の注意事項

[点検]

ケージシステムユニット組立後、足場上部に設置する前に、ボルトの緩みがないか全箇所確認してください。

- ・足場上部にユニット設置後、目視確認等でアルミトラスにたわみが確認できた場合は、水平になるようにレバブロックで調整してください。
- ・キー付きアイポイントボルトの緩みがないか確認してください。
- ・張力用ワイヤーにほつれ等が発生した場合には、直ちに交換を行ってください。

ワイヤーロープの使用禁止基準

素線の断線	1よりの間で素数の数の10%以上の素線が断線したもの		
摩耗	直径の減少が公称径の7%をこえるもの		
キンク	キンクしたもの		
形くずれ・腐食	著しい形くずれ又は腐食があるもの		

■ レバブロック部の確認

レバブロックの操作等については、キトーレバブロック® 取扱説明書(L5形)

https://www.kito.co.jp/data/download/_id_230_content_spec_type_pdf.pdf

にてアクセスして頂くか、以下QRコードからご確認頂くようお願い致します。



~~~~~

# Cage System

## ■ レンタル



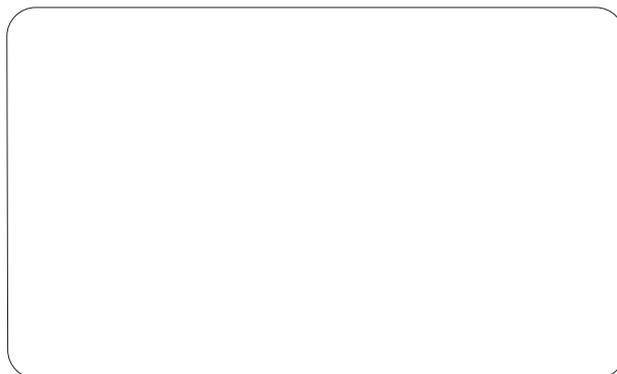
|          |                  |                                   |
|----------|------------------|-----------------------------------|
| 本 社      | 〒102-0082        | 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F         |
| 東日本第1営業部 | TEL.03-6369-2221 | FAX.03-6369-2220                  |
| 東日本第2営業部 | TEL.03-6369-2222 | FAX.03-6369-2230                  |
| ラップホン事業部 | TEL.03-6369-2223 | FAX.03-6369-2228                  |
| 大阪支店     | 〒541-0053        | 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクウェアビルⅡ        |
| 営 業 部    | TEL.06-6260-1122 | FAX.06-6260-1123                  |
| 東北支店     | 〒989-1503        | 宮城県柴田郡川崎町大字川内字七曲山63番地             |
|          |                  | TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333 |
| 名古屋支店    | 〒496-0026        | 愛知県津島市唐臼町二ツ池60番地                  |
|          |                  | TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078 |
| 広島支店     | 〒731-0223        | 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号              |
|          |                  | TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878 |
| 四国支店     | 〒761-8031        | 香川県高松市郷東町577番地5                   |
|          |                  | TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180 |
| 九州支店     | 〒811-2104        | 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585               |
|          |                  | TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813 |
| 札幌営業所    | 〒001-0915        | 札幌市北区新琴似町574-2                    |
|          |                  | TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630 |
| 静岡営業所    | 〒421-0303        | 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2                    |
|          |                  | TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456 |

## ■ 開発元

 株式会社 鷹浩工業

〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町3-27-3 ガーデンパークビル305  
TEL.03-5833-4055 FAX.03-5833-4066

## ■ 取扱い店



◆ **カタログ掲載商品について**  
このカタログの掲載内容は、2022年6月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

◆ 地域により取り扱いのない商品や色、サイズ、仕様が異なる場合がありますので、詳細は各担当にお問い合わせ下さい。◆